

キューピーみらいたまご財団主催

第17回 地域の 居場所づくり サミット

～居場所を通じて築く、子どもとの関係～

2025年

11月8日 土

9:30-12:00

参加申込み

QRまたはリンクから

<https://forms.gle/GmUs98vM5yQYDShnZ>



料金 無料

場所 オンライン配信

対象 子ども食堂運営団体
子ども食堂の支援団体
関心のある団体・個人

全国に広がる子ども食堂の現場で、子どもや保護者との関係づくりに悩む声が増えています。今回のサミットでは「子どもとの関係づくり」をテーマに、講演や交流を通じて、日々の活動に活かせるヒントを探ります。

第1部 9:30～11:00

2026年度助成事業説明

講演 「こどもたちと信頼関係を築くために」

山梨県立大学人間福祉学部 講師 関屋 光泰氏

事例報告①「安心して居られる場をつくるために」

一般社団法人ライフサポートひかりさえずりの木 浮田 瞳氏

事例報告②「こども食堂を支え、こどもたちに寄り添う」

一般社団法人こどもの居場所サポートおおさか 代表理事 横田 弘美氏

第2部 11:05～12:00

グループに分かれた交流会 「子どもとより良い関係をつくるには」

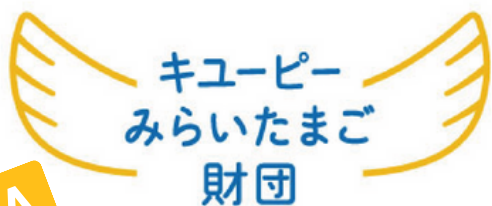
問い合わせ

一般社団法人 全国食支援活動協力会

☎ 03 - 5426 - 2547 (平日9:00～18:00)

プログラム

第1部 地域の居場所づくり講座



説明会

2026年度助成プログラム

キューピーみらいたまご財団は、「子ども」を対象とする食育活動、食の居場所づくり活動に対する助成団体募集を行います。2026年度助成プログラムについて説明をします。

Q サミット終了後、2026年度助成プログラムについて個別相談会を開催いたします。説明を聞かれて質問などある方の当日参加も可能です。

講演

「こどもたちと信頼関係を築くために」

山梨県立大学人間福祉学部 講師 関屋 光泰氏



社会福祉士・公認心理師として、生活困窮者支援や、福祉施設職員のメンタルヘルスの支援等に取り組みながら、子ども食堂の研究にも尽力。特に子ども食堂に関しては、食支援にとどまらず、子どもたちの「体験格差」や孤立の問題に着目し、地域とのつながりや自己表現の場としての可能性を探求している。

事例報告①

「安心して居られる場をつくるために」

一般社団法人ライフサポートひかりさえずりの木 浮田 瞳氏

「子ども達が自分らしく生きられる社会をつくる」を理念に、子ども食堂・居場所支援を実施し、活動は8年目を迎えました。毎週30人前後が子ども食堂に集い、安心して過ごせる居場所を提供。食事や学習支援に加え、海釣り・BBQなど子ども達の体験機会を重視した活動も実施。地域のフリースクールや養護施設、自治体、放デイとも連携し、子ども達一人ひとりに寄り添う支援を実践しています。



事例報告②

「こども食堂を支え、こどもたちに寄り添う」

一般社団法人こどもの居場所サポートおおさか 代表理事 横田 弘美氏



2014年より閉校小学校を活用し、プレーパークを開設。地域の子どもの居場所づくりに取り組んできました。2020年度からは休眠預金事業の大阪拠点を運営し、相談機能付きフードバンクやこども食堂を通じて、困難を抱える子育て世帯への個別支援や食の支援を広げています。

第2部 交流会 メインテーマ「子どもとより良い関係をつくるには」

居場所づくりに携わっている方同士の、互いの取組み・経験談を共有する場がこの交流会です。長年活動している方だけでなく、活動して間もない方、これから活動しようとしている方、活動してないが興味はある方、活動を支援している方も大歓迎。ぜひ、ご参加ください。